スイスの法的手段

Dr Alexander Ressos, TEP
Attorney-at-Law (Switzerland and Germany),
Solicitor (England & Wales and Hong Kong)
Of Counsel, KGP Legal LLC
alexander.ressos@kgplegal.com.sg
www.ressos.com.sg

遺言と遺留分規則

スイスの遺言は、公正証書、自筆（手書きで日付と署名を付したもの）、または緊急時には口頭で作成することができます。[1]2023年1月1日施行の改正以降、直系卑属と生存配偶者はいずれも法定相続分の2分の1を遺留分として有し、父母は遺留分を有しません。したがって、配偶者と子を持つ遺言者の自由分は、遺産の2分の1となります。[2]デジタルアセットは遺産の一部であり、死亡時の価額で遺留分の計算に算入されます。価格変動の大きい資産の場合、これは実務上の問題を生じさせます。死亡日の価額が遺産分配時の価額と大きく異なることがあり、トークンを受け取る相続人はその変動を負担する一方、現金を受け取る相続人は負担しないからです。[3]デジタルアセットを特定の相続人に現物で割り当てる遺言では、その割当てが固定価額による遺贈なのか残余財産の持分なのかを明記し、調整のためにトークンを売却する権限を遺言執行者に与えておくべきです。

遺言は、鍵管理の仕組みを機能させるための指示を記載する場でもあります。具体的には、遺言執行者の指定、遺産の負担で技術的支援を依頼する権限、受託者または共同署名者に対する遺言執行者への協力の指示、そし

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

て売却または現物で移転する権限です。スイス法は遺言執行者に管理の権限と遺言者の指示を実行する義務を与えているため、これらの指示は拘束力を持ちます。[4]

実務上の留意点

デジタルアセットに関するスイスの遺言条項は、5つのことを定めるべきです。第1に、遺言執行者が保管する財産目録を参照して資産を特定し、遺言自体にはアドレスを記載しないことです。遺言は開封時に公の文書となるからです。第2に、技術アドバイザーとカストディアンを起用する権限を持つ遺言執行者を指定することです。第3に、鍵シェア、シード記録または共同署名権を保有するすべての者に対し、遺言執行者の求めに応じてそれを引き渡すか行使するよう指示し、遺言執行者に対する守秘義務を解除することです。第4に、デジタルアセットが死亡日の価額による現物の特定遺贈として承継されるのか、残余財産の一部として承継されるのかを明記することです。第5に、税金、債務、調整金の支払いのためにトークンを売却する権限を遺言執行者に与えることです。第Q部第III章にモデル条項を収録しています。

スイスにおける遺言執行者の問題

スイスの遺言執行者は、州の当局から指定証明書を取得し、それに基づいて銀行、カストディアン、登記所と手続を行います。[5]スイスの銀行とカストディアンは、この証明書と通常の本人確認により、遺言執行者にデジタルアセットを引き渡します。障害となるのは外国の取引所です。多くの取引所は、自らの法域で発行された検認状や、時間のかかる書類の認証手続を求めます。手続がまったく存在しない取引所もあります。財産目録に取引所口座を見つけた遺言執行者は、数か月に及ぶやり取りを覚悟し、取引所の所在する法域の現地弁護士の費用を予算に組み込むべきです。そのため、承継計画では、所有者の生前に相当額の残高を取引所から移し、引継ぎの仕組みを備えたカストディまたはセルフカストディに置くべきです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

スイスの相続税は州税です。ツークは配偶者と直系卑属には課税せず、その他の相続人には累進課税を行います。チューリッヒも同様に配偶者と直系卑属を非課税としています。[6]それでも遺言執行者は、州の当局に財産目録を提出し、死亡日時点でトークンを評価しなければなりません。当局は、可能な場合には連邦税務当局の相場表を用います。

夫婦財産と事前委任

スイスの法定夫婦財産制である後得財産参加制の下では、婚姻中に各配偶者が取得した財産は、離婚または死亡の際に均等に分割されます。これには、婚姻中に得た所得で購入したデジタルアセットも含まれます。婚姻前から所有していた財産や、贈与または相続によって取得した財産は固有財産のままです。[7]婚姻前に購入したトークンの値上がり益は固有財産ですが、婚姻中に給与所得で購入したトークンは後得財産です。トークン配分のベスティング期間中に結婚した創業者は、解除されたトランシェが後得財産となることを想定しておくべきです。対策は、別産制を採用するか後得財産参加制を修正する公正証書による夫婦財産契約であり、配偶者は婚姻前でも婚姻中でもこれを締結することができます。[8]この契約では、デジタルアセットを固有財産として列挙し、立証責任を配分しておくべきです。民法第200条は、財産の性質を証明できない場合には後得財産と推定するからです。[9]

判断能力の喪失には、事前委任（Vorsorgeauftrag）で対応します。完全な判断能力を有する者が、自らが判断能力を失った場合に財産を管理し法的事項について代理する者を指定するものです。事前委任は自筆または公正証書で作成され、判断能力喪失時に成人保護当局によって有効性が確認されます。[10]事前委任では、デジタルアセットにも明示的に及ぶことを定め、受任者が鍵シェアを取得し共同署名者に指示する権限を付与すべきです。受任者のデフォルトの権限は、当局が把握できる資産を基準に解釈されるからです。

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

注

1. CC, SR 210, Arts 498 to 506（死因処分の方式。Art. 505に基づく自筆遺言）。 ↩
2. CC, SR 210, Art. 471（直系卑属および生存配偶者または登録パートナーの遺留分は法定相続分の2分の1）、Federal Act of 18 December 2020による改正、2023年1月1日施行；Art. 457およびArt. 462（直系卑属と配偶者の法定相続分）。第D部第VIII章。 ↩
3. CC, SR 210, Art. 474（自由分の計算上、遺産は死亡日時点で評価される）；Art. 617（分割時の市場価額による評価）。 ↩
4. CC, SR 210, Art. 517（死因処分による遺言執行者の指定）およびArt. 518（遺言執行者の権利と義務：遺産の管理、債務と遺贈の支払い、遺言者の指示または法律に従った分割）。 ↩
5. CC, SR 210, Art. 517 para. 3（当局が遺言執行者の指定を確認する）；州の実務（遺言執行者証明書、Willensvollstreckerzeugnis）。 ↩
6. Canton of Zug, Gesetz über die Erbschafts- und Schenkungssteuer (BGS 634.1), § 5（配偶者と直系卑属の非課税）；Canton of Zürich, Erbschafts- und Schenkungssteuergesetz (LS 632.1), § 11（配偶者と直系卑属の非課税）。第G部第I章。 ↩
7. CC, SR 210, Arts 196 to 198（後得財産と固有財産）、Art. 204（夫婦財産制の解消）およびArt. 215（各配偶者は相手方の増加分の2分の1を取得する）。 ↩
8. CC, SR 210, Art. 182（婚姻前または婚姻後の公正証書による夫婦財産契約）およびArts 247 to 251（別産制）。 ↩
9. CC, SR 210, Art. 200 para. 3（後得財産の推定）。 ↩
10. CC, SR 210, Arts 360 to 369（事前委任：指定、Art. 361に基づく方式、Art. 363に基づく成人保護当局による有効性確認）。第D部第VIII章。 ↩

© 2026 Dr Alexander Ressos. General information only, not legal, tax or investment advice. No client relationship is created. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. More information at SingaporeIQ.com and ressos.com.sg.

Disclaimer

This article is provided for general information only. It is based on publicly available sources as at its date of publication. These sources have not been independently verified against licences, regulatory registers or the records of the entities concerned. It is not legal, tax, financial or investment advice. Nor is it a recommendation to invest in, transact with or use the services of any entity mentioned. Law and regulation change frequently, so the content may be incomplete or outdated. To the fullest extent permitted by law, Dr Alexander Ressos and the publisher of SingaporeIQ exclude all liability for loss or damage arising from the use of or reliance on this article. Readers should obtain advice on their specific circumstances before acting or refraining from action.

Names and trademarks of the entities discussed belong to their owners and are used for identification only. Their mention implies no endorsement, affiliation or allegation of wrongdoing. All Singapore law advice is provided by a duly licensed and regulated firm of Singapore advocates and solicitors only on the basis of an express written letter of engagement. Corrections and updates: contact@ressos.com.

© 2026 Dr Alexander Ressos. This article may be quoted with attribution to SingaporeIQ (SingaporeIQ.com). Reproduction in full and any commercial use require prior written consent. The Legal Terms at https://singaporeiq.com/legal-terms apply.

Author contact: Dr Alexander Ressos, TEP · contact@ressos.com